



新城寺境内に建つ会津農書之碑

いま、神指町幕内の新城寺に『会津農書之碑』が建てられています。これは昭和四十三年（一九六八年）に、村の人たちの子孫によつて、与次右衛門のすぐれた足あとを記念して建てられたものです。

この年、『会津農書』も、幕内の人の手によつて、活字の本になりました。この本の内容は、とても三〇〇年も前に書かれた本とは思えません。

与次右衛門は、この本の中から、現在の農業を心配して、こう語りかけています。

「作物をつくるには、土と水にあつた品種をえらびなさい。」